



令和3年12月9日

各 位

会 社 名 **株式会社 ティビィシー・スキャット**
代 表 者 代表取締役
社長執行役員 長島 秀夫
(コード：3974 東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 執行役員 I R 担当
経営企画室 室長 高橋 栄
(TEL：03-5623-9670)

取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社は、取締役会の機能向上による企業価値向上を図ることを目的として、第54期（令和3年10月期）における取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、指名報酬委員会において、全ての取締役及び監査役に対し、第54期（令和3年10月期）における取締役会の実効性に関して段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配布し、無記名方式により全員から回答を得ました。これを集計した上で、取締役会において分析・評価を行いました。

(1) 実施日時

令和3年11月 アンケート作成、回収、評価・分析及び課題抽出

令和3年12月 指名報酬委員会から取締役会へ答申

令和3年12月 「第54期（令和3年10月期）取締役会の実効性評価」確定

(2) 評価者

全取締役、及び監査役

(3) 実施方法

全評価者に対するアンケートの実施

指名報酬委員会でアンケート結果の評価・分析及び課題抽出

(4) 評価項目

第1部 取締役会の構成

第2部 取締役会の運営

第3部 取締役会の議題

第4部 取締役会を支える体制

2. 評価結果の概要

各取締役及び監査役の自己評価において、当社の取締役会は概ね機能しておりますが、実効性の課題を確認いたしました。

評価された項目では、知識、専門性、経験等を備えた独立社外取締役、社外監査役、及び公認会計士資格を有する取締役により、議論の活性化、及び事業における適切なリスクテイクを促す等の経営管理体制が整えられている。また、コンプライアンス・リスク管理体制、会社との利益相反行為の管理については、高い評価をいただきました。

一方、個別のテーマのうち取締役会の運営（事前検討時間）、各種委員会の活性化など改善点が挙げられ、次年度に向けた課題が明確になりました。

3. 改善された項目

（1）経営と業務執行の分離による取締役会の役割（経営）の明確化

執行役員制度の導入により、経営を取締役会、業務執行を執行役員会で実行するよう分離し、取締役会の経営に係る実効性評価の基準を明確にしました。

（2）取締役会の構成

取締役会の構成員である役員をはじめ経営幹部の世代交代（若返り）を進めました。並行して社外からの有資格者の招へい、若手人材の抜擢など役割分担（専門性）を担保いたしました。

4. 評価結果を踏まえた取り組み

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ議論した結果、以下を課題として認識し、取締役会の実効性向上のための取り組みを行います。

（1）経営戦略等に関する議論の深化

取締役会その他機関の権限や取締役会での議題にかける時間配分の見直しを行い、重要な議論にかける時間を確保し、具体的な経営戦略や経営資源の配分のための議論を深化させることで、企業価値向上に向けた事業運営体制を構築する。

（2）取締役会を支える体制の強化

各種委員会の活性化のために、役員をはじめ経営幹部に対するトレーニングを推奨し、取締役会の議論の質を向上させ、経営に対する監督機能の強化を図る。

当社取締役会は、今回の実効性評価結果を踏まえ、一層充実したコーポレートガバナンス体制を構築してまいります。

以上